

住民自治協議会だより

発行 長野市小田切地区住民自治協議会 発行人 宮尾 忠二

世帯数と人口
(平成27年9月1日現在)

世帯数 452戸

人口 996人

地域おこし協力隊員着任する

本年6月の第13号既報の、地域おこし協力隊員が本庁での研修を終え6月15日に着任し早速活動を始めました。今回長野市から配属された隊員は大阪貝塚市出身 涌田 周さん(男性)、埼玉県熊谷市出身の福永 梢さん(女性)の2名です。兩人とも一日も早く地区に溶け込み、小田切の活性の為に力を注ぎ、小田切の人となりたいたと熱意を込めて話してくれます。

しかし残念なことに福永さんは6月下旬に体調を崩し、生家に戻り療養したが回復が思わしくなく7月末日を以て離任しました。後任については、9月以降補充する予定とのことです。



プロフィール

1970年生まれ。
大阪府貝塚市出身。
4才になるメス犬
(ヨークシャーテリア)
と住む。前職はスー
パーマーケットの店員
です。
そば打ちが得意で自
分で打ったそばを堪
能しています。

着任ご挨拶

6月小田切支所に着任いたしました地域おこし協力隊の涌田 周さん(わくた あまね)です、よろしく
お願いいたします。大阪府貝塚市より下宮野尾区の久保地区に引越してきました。

趣味はアウトドア、スポーツ、鉄道模型収集です。特に鉄道模型は趣味歴が長く、
保有車両台数は3,000輛を超えています。

小田切に住むようになって、様々な皆さんからいろいろなことを教わりながら早
く地域に馴染めるよう、日々勉強中です。

さて、現在の活動内容は地区内の区長さんのお宅を訪問したり、道路を覚える為
に各集落を巡回したり、また地区の各イベントに参加したりして、とにかく住民の
皆様と土地をのみこめるように努力しています。

今後、特産品(農産物、工芸品等)の発掘やPR、地区内の名所の整備、農業支
援等の活動を通じて、小田切と言う地名を全国に発信していきたいと考えていま
す。そして、小田切の住民が一丸となって地域おこしが出来るきっかけを作れるよ
うな役目を担えるように活動をしていきたいと思っています。

また、景色の素晴らしいこの土地に定住、定着を考えていますので、小田切地区
の皆様、どうか応援して下さい。

長野市住民自治協議会の組織改革

平成23年に長野市住民自治協議会が発足して以来、
46回の連絡会が開催されて来ました。

27年2月より組織改革が検討されてきましたが、7
月の会議を第1回長野市住民自治連絡協議会理事会と
名称が改められました。

改革の内容は市内32地区を7ブロックに分け、副会
長各1名を選出しその中より会長1名を置くものです。

小田切地区は第6ブロックに所属し七二会、中条地
区で編成され、副会長に小田切の宮尾忠二住自協会長
が選出されました。

正副会長会の会長に第4ブロックの篠ノ井地区、渡
辺一正住自協会長が選出されました。

役員任期は1年です。

支所発地域力向上支援事業内定

支所発地域力向上支援事業は昨年に続き、1地区50万円の範囲内で実施されました。

小田切地区の事業実施を募ったところ、2地区1団体から申込みがあり、8月7日に支所長、宮尾住自協会長等5名の選考委員により審議され、要望通り内定しました。

今後は長野市の交付決定があり来年3月末までに事業完結しなければなりません。また、事業実施報告書に基づき事業評価が行われます。

内定事業は次の通りです。



団体名	吉 窪 区	上山田中区	NPO 小田切オアシス
代表者	塩 入 孝 男	長 田 貞 夫	酒 井 昌 之
事業名	北アルプス鳥瞰図	鳥瞰図の修復、支障木の伐採	市民菜園の圃場整備
実施地区	吉窪区塩日方県道わき	上山田中区小野平	上山田中区小野平
補助金額	120,000円	208,000円	172,000円

災害時非常通信無線機設置される



6月17日、27年度長野市やる気支援事業で採択されていた小田切地区災害時非常通信用の無線無線機11台が各区に配備されました。事業は市の補助金70万円と小田切地区住自協自己負担30万円（総事業費100万円）です。

導入前のテスト通信より本格アンテナ設置後の通信では、通話エリアと通信の質に変化がみられました。親機は災害時対策本部が開設される小田切公民館体育館に設置され、使用慣熟訓練の為に毎月の定例区長会には無線機を使い会議招集をしています。

今後災害時の通信ばかりでなく、その他発展的活用方法を研究します。

☆下表は地区内の通信状態です

◎ 通信最良

○ 可

△ 音声途切れる

× 不可

区 名	深 沢 区			吉 窪 区			下 宮 野			上宮野
集 落 名	上深沢	下深沢	平 林	日 方	新 橋	花 上	久 保	榎	草 崎	全 域
通信状態	◎	△	○	◎	○	△	◎	○	○	◎

区 名	上山田中	下山田中	国 見 区		中組	千木区	地蔵平区		裾 花 区	
集 落 名	全 域	全 域	国 見	湯 山	公会堂	全 域	バス停	公会堂	バス停	自治会館
通信状態	◎	◎	○	△	○	○	○	×	○	○

相変わらず 猪・鹿・熊!!!

毎 年のように農作物を荒らされ、困った 困った!と言いながらイノシシ、シカ、熊など出没するようになって十数年以上も経ちました。昔は有害鳥獣と言っても農作物をに食い荒らすのはスズメ、カラス位でした。最近はリンゴの下枝をも折るのも耳にするところです。有害鳥獣の頭脳を超越檻や、わなの仕掛けに工夫を凝らし1頭でも多く捕獲したいものです。

下表は今年8月までに三地区での実績表です。

	麻庭	国見	湯山	計
イノシシ	7	14	5	26
シカ	1	1	0	2
熊	0	1	1	2
ハクビシン他	10	15	15	40



左表の地区以外でも捕獲されていると思われませんが、小田切支所には報告されていません。

(環境・地域活性化部会長 上野 修)

平成27年度 土木事業現地調査実施される



9月3日、4日の両日地蔵平区と裾花区を除いた区で27年度土木事業現地調査がありました。検討結果は28年度の長野市の事業計画に反映されます。

今年度は特に昨年の県北部地震を考慮し、土砂崩落や落石の危険箇所を入念に調査されました。また、最近ではイノシシの掘り起こしで路肩損壊被害が出ており、現状確認がなされました。

調査結果は全市内終了後文書にて報告されることになっています。

一方、今年度の小田切地区における工事執行状況は、小規模工事が主体になっているような傾向がみられます。

今後落石防護壁、トンネル修繕工事等を予定しており、要望事項の早期着手を期待しています。

「ひとり暮らし高齢者の集い」開催される

今年度も7月7日（火）に「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催しました。

この行事は民児協のふれ愛会食との共催事業です。

普段はおひとりでおられる方達に稲荷山杏泉閣に一堂に会しました。今年度の該当者は60名でしたが、その内26名の方が参加されました。

来賓の宮尾住自協会長さんと市川支所長さんに地域おこし協力隊員の紹介を兼ねたご挨拶をいただきました。

その後参会者を代表して塩入貞一さんが、特殊詐欺に引っかかりそうになった経験談をお話いただきました。

皆、他人事でないと、気をつけなければと真剣に聴き入りました。

皆様、来年もお元気で参加してください。（福祉ワーカー 西山）



第1回

小田切地区 社会福祉大会の開催

11月8日（日）小田切青少年錬成センターに於いて、地区で初めての社会福祉大会が開催されます。当日は地区内ひとり暮らし高齢者の会食会も同時開催となります。

本大会は、ここに参加された方が“来てよかった”“地区にはあんな方もおられる、仲良くなれた、楽しかった”と思える大会、人と人がつながり共に支え合う小田切地区を旨として開催されます。

- 1 期 日 平成27年11月8日（日）午前10時～
- 2 場 所 小田切青少年錬成センター
- 3 内 容 福祉功労者の表彰
翔和学園 太鼓演奏
音楽キャラバンコンサート
湯山若妻劇団「認知症あれこれ」
健康相談
- 4 詳しいことは、10月中に各戸配布のチラシにてお知らせ致します。
皆様のご参加をお待ちしています。

お楽しみコーナー

コーヒー・お菓子（無料）

軽食コーナー

うどん・パン・おやき

バザーコーナー

手芸品・野菜・果物販売

県の支援金でアマワラビ22^アに植え付けました

NPO法人小田切オアシス
理事長 酒井昌之

4月18日、小野平地区でアマワラビ（アクの少ないワラビ）を22^アに植え付けました。

これは昨年、同地区において耕作放棄地22^アを市の優良農地復元事業の補助金を活用して復元したものの。この事業により隣接する既存のアマワラビ園と併せると32^アの規模になります。

アマワラビ園の規模拡大は県の「地域発元気づくり支援金事業」に応募して承認されたもので補助率は3/4です。

アマワラビによる地域振興は珍しく、信濃毎日新聞ではワイド版に掲載されました。

反響は大きくわらび狩りツアーには、遠くは下伊那郡下条村、松本市、近くは須坂市、千曲市、市内から多くのかたが参加され楽しい一時を過ごすことができました。

○アマワラビ苗の注文について

アマワラビは山野に自生する芝ワラビと異なりアクの比較的少ないワラビを選抜し試験場で種を固定化して商品化したもので特徴は①アクが少ない②柔らかくノリが強い③調理し易い等です。

このため市場性が極めて高く比較的高価格で流通しています。何よりも強みはイノシシ日本鹿など野生獣害にあわない事があげられます。また4月下旬から8月下旬まで収穫ができる事といったん植えてしまえば植え代える必要はなく高齢者や女性でも容易に管理や収穫ができ、中山間地の振興に期待されています。

オアシスでは28年4月中旬からアマワラビの苗（根株）の販売をいたします。価格は1kg1,500円です。希望者は事務局（酒井 229-3264）にお申込み下さい。

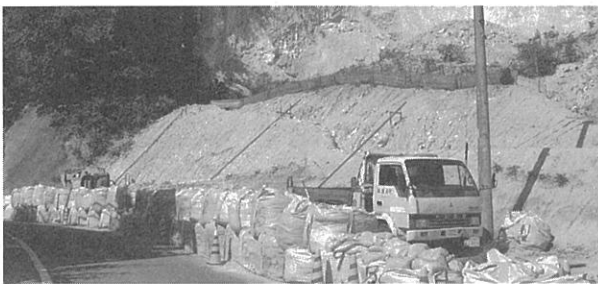


○「山ぶき実験農場」を開設します

オアシスでは同地区に市の補助金を活用して復元した耕作放棄地7^アに「山ぶき実験農場」をこの秋開設します。

試験栽培を重ね、経済性などのデータを収集し公表します。

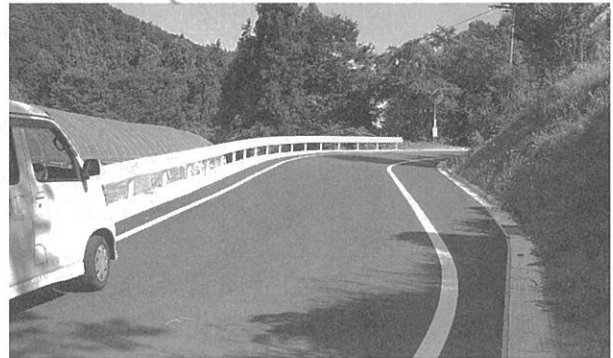
▶▶ 災害復旧工事 ◀◀



昨年11月発生

県北部地震（神城断層）県道入山・小市線ゴルフ練習場付近山肌崩落防止工事（10月完成予定）

▶▶ 拡幅工事完了 ◀◀



同県道 上深沢集落（6月完成）

まとめ通信



- ① 小田切住民自治協議会は9月16日（水）本年10月より全国民に「通知カード」その後「個人番号カード」が配布され、来年1月より運用されるマイナンバー制度について市の担当者を招き勉強会を開催しました。
- ② 【交通政策課】現在、市が関与しているバス等路線の利用及び収支状況を基に、本年6月完成した市公共交通ビジョンにある今後の市の公共交通の施策について説明を受けました。28年度に地区を交え利用向上策等について協議する予定です。